

St.Moritz



姉妹都市提携60周年

60th Anniversary of sister city relationship

倶知安町町民海外研修

Overseas study tour for Kutchan Residents

2024.7.8 – 7.16

スイス

- サンモリッツ - ツェルマット - ダヴォス

Switzerland

- St.Moritz - Zermatt - Davos



Kutchan

2024年7月8日(月)

July 8 (mon), 2024

サンモリッツへ向け出発(倶知安→成田)

Kutchan → Narita Airport



役場正面玄関前で出発式を実施
町職員等に見送られバスで新千歳空港へ

倶知安町とサンモリッツは、1964年に日本・スイスの両国間で初となる姉妹都市提携を締結しており、2024年で提携60周年を迎えました。記念の年をサンモリッツの方と共に祝い、さらなる親交を深めこの関係が末永く続くよう、今回、10年ぶりとなる公式訪問を実施しました。訪問団は、文字町長・作井議長をはじめとする町民14名で構成されました。

また、倶知安町が国際リゾートとして在り続けるために、サンモリッツをはじめとするスイス国内の国際リゾートから、世界水準の滞在型・通年型リゾートの形成につながる取り組み等を学ぶことを目的に、併せて町民海外研修を行っています。



新千歳空港からスイスへの直行便がないため
成田空港へ向け出発



成田空港に到着



翌日のサンモリッツへ向け
「ANAクラウンプラザホテル成田」で前泊

2024年7月9日(火)

July 9 (tue), 2024

サンモリッツへ向け出発(成田→サンモリッツ)

Narita Airport → St.Moritz



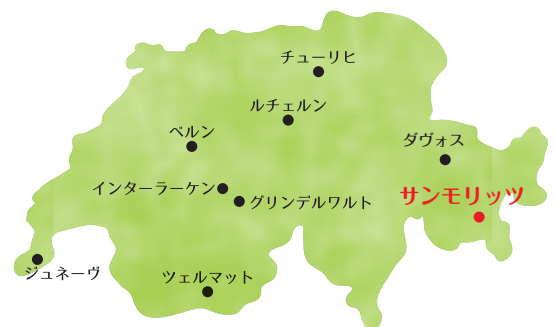
姉妹都市「サンモリッツ」について

- ・面積：28.69km²（倶知安町：261.34km²）
- ・人口：4,926人（倶知安町：16,505人）※2023.12末時点

スイス南東部のグラウビュンデン州に位置し、標高は1,822mで羊蹄山（1,898m）とほぼ同じ高さです。

言語は、公用語の中でもドイツ語とロマンシュ語の話者が多く、伝統あるものの名にロマンシュ語が多く使われています。

1928年と1948年に二度の冬季五輪を開催しており、ウィンタースポーツのメッカとして人気の観光地となっています。





スイスインターナショナルエアラインズの
機体へ乗り込むゲート



チューリッヒ・クロテン国際空港に到着



景色を楽しみながらサンモリッツへ向けて
バスで約4時間の移動



22時過ぎ（現地時間）サンモリッツに到着
ホテル「REINE VICTORIA BY LAUDINELLA」で3泊

2024年7月10日(水)

July 10 (wed), 2024

ウェルカムパーティー

Welcome Party



スイスを代表する楽器アルプホルンの音楽隊による演奏で歓迎



サンモリッツ観光局のジュリア氏からサンモリッツの観光に関するレクチャー



イエニー サンモリッツ市長あいさつ

遠く日本からスイスへ、長い旅をしていただき感謝します。

私たちは、60年続いたこの交流を、どのように続けていくかが重要だと感じています。

両都市が、美しい面だけではなく、それぞれが抱える課題なども共有し、一緒に話し合い、解決できる関係を築いていきたいと思えます。

ウェルカムパーティー終了後、参加者らは自由に意見交換等を行い、交流を深めました。

市庁舎訪問・サンモリッツ市内見学

Visit to the city hall and tour of St. Moritz

観光地となる前のサンモリッツは、高い効能の鉱泉が広く知られ、保養地として栄えていました。現在では、富裕層の観光客が多く、町の中にも高級ブランド店が数多く立ち並んでいます。そんな中でも、古くからある建物や景観は変わらず維持されており、訪問団はその歴史ある町並みを歩いて見学しました。

また、市庁舎前の広場には、倶知安とサンモリッツの姉妹都市提携を記すプレートが設置され、庁舎には日本国旗と倶知安町旗が掲げられており、両都市のつながり強さが示されていました。



スズー通信員による市内案内



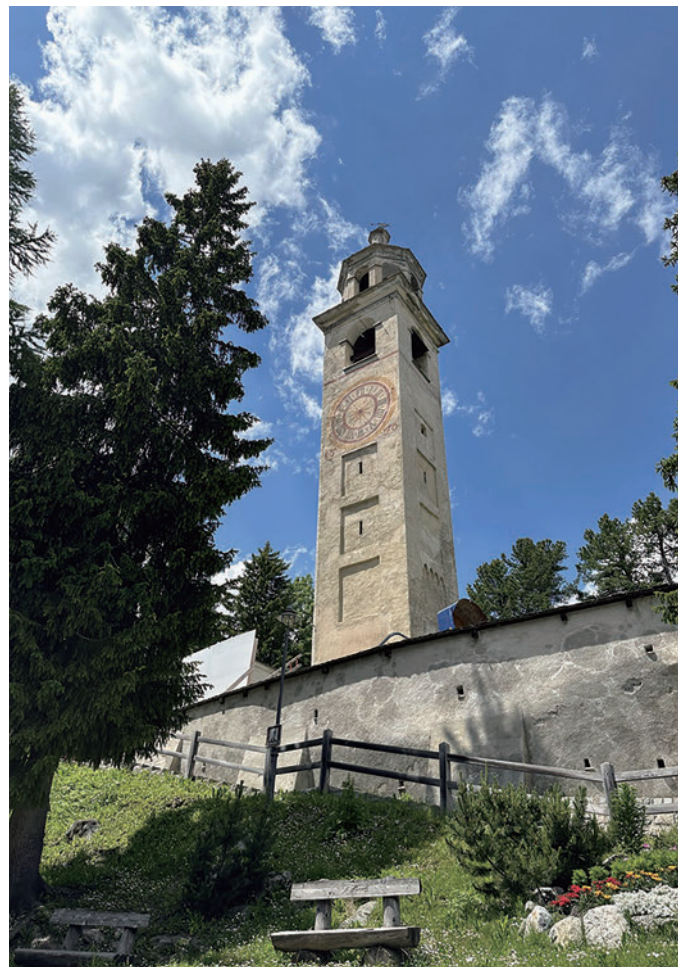
サンモリッツ市庁舎
両国の国旗と倶知安の町旗が出迎える



町の中に多くのごみ箱。犬のフン専用のごみ箱には袋が常備



お店の前などに緑の木々や色鮮やかな花壇



町並みや景色を楽しむ数多くのベンチ



サンモリッツの美しい街並みを維持するため、
まちづくりにさまざまな管理や工夫が凝らされていました。



多くの方がサンモリッツ湖の湖畔で穏やかなひとときを過ごす

夕食会

Dinner



サンモリッツオーケストラによる演奏



スイス料理などのおもてなし

2024年7月11日(木)

July 11 (thu), 2024

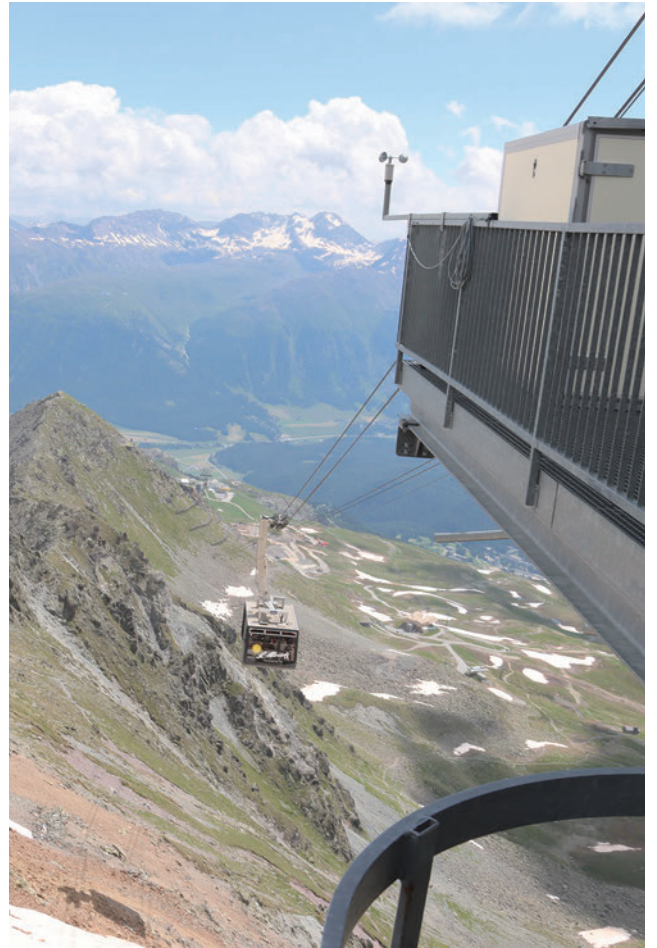
ピッツネイル

Piz Nair

ピッツネイル (3,057m) は、スキーやマウンテンバイク、ハイキングなどが楽しめるサンモリッツにある山で、多くの方が訪れる観光地です。サンモリッツの中心地からフニクラ（ケーブルカー）とロープウェイを乗り継いで山頂まで行くことができます。山頂では、サンモリッツ湖や山々が織りなす壮大な景色が目の前に広がります。

太陽が市のシンボルになるほど晴れの日が多いサンモリッツでは、人工雪を使いスキー場の整備を行います。ピッツネイルも人工湖から人工雪を作るため、スキーシーズンに備えた新しい人工湖の建設が進められています。





スイスでは定番のフニクラで山を移動

ピッツネイル山頂駅からの眺め



山頂を一望できるテラス



サンモリッツ警察と短時間の交流



マウンテンバイクの乗車も考えられた交通機関

記念セレモニー

Commemorative Ceremony

両都市の姉妹都市提携 60 周年を記念し、築いてきた友好関係のさらなる発展や学生交流をはじめとする交流事業の推進等を願い、記念セレモニーを実施しました。

友好の証として、サンモリッツより倶知安へ「絵画『アルプスの真昼』（レプリカ）」を、倶知安よりサンモリッツへ「オリジナルスキー板」を贈り、記念品の交換を行いました。

これまでも姉妹都市提携を記念する大きな節目の年には、両都市の友好の証として記念品を交換しています。



山岳画家・ジョヴァンニ・セガンティーニが描いた「絵画『アルプスの真昼』」のレプリカ。当作品は、サンモリッツのセガンティーニ美術館に所蔵されています。



町内在住の二川原氏が作成したスキー板。頑丈で柔軟性がある町産の広葉樹が使用されており、サンモリッツの雪質に合わせた工夫が施されています。



ジャガイモ本来の味を楽しめる「俱揚げ」で伝える町の魅力



共同宣言

Joint Declaration



今後の友好関係の発展や学生交流等の住民同士のさらなる積極的な交流を願い、イエニー市長と文字町長が調印を行いました。

サンモリッツ側へは、サンモリッツの歴史がつづられ続けてきた1冊の本へ調印がなされました。



セレモニー後、行政職員と共に夕食

2024年7月12日(金)

July 12 (fri), 2024

ツェルマットへ向け出発(サンモリッツ→ツェルマット)

St.Moritz → Zermatt



訪問団を見送るスズーイー通信員



中間地点ロカルノで昼食





テーシュで鉄道へ乗り換え



つり革の取っ手は輪の部分がなく日本人には高め



ガソリン車禁止のため、移動は電気タクシーや馬車

2024年7月13日(土)

July 13 (sat), 2024

ツェルマット

Zermatt



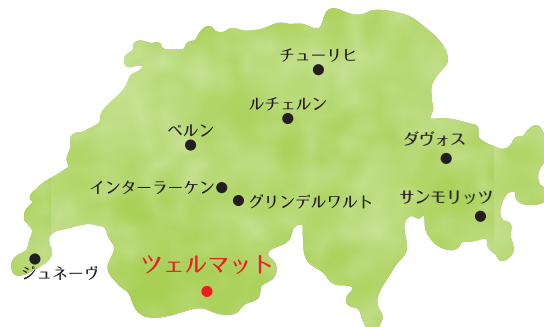
「ツェルマット」について

- ・面積：242.67km²
- ・人口：6,023人 ※2023.12末時点

スイス南部のヴァレー州に位置し、外国籍住民の人口が45%以上を占めています。

マッターホルンをはじめ4,000m級の山々に囲まれるハイキングが人気の山岳リゾートです。

再生可能エネルギーが多く活用されている町で、ガソリン車の乗り入れも禁止にしており、多くの方は隣町のテーシュから鉄道に乗り換えて訪れます。





ハイキング

Hike at Gornergrat

マッターホルンを望むゴルナーグラート展望台へは、ツェルマットから鉄道で40分程度で行くことができます。

ハイキングやマウンテンバイクのルートはさまざまで、ルートへ行くまでゴンドラや登山電車、スキー用リフト等が整備されているため、体力や年齢を問わず楽しめるようになっています。



バイオガスプラント

Biogas Plant

環境に配慮したまちづくりを進めるツェルマットでは、ごみは「普通ごみ」、「生ごみ」、「再生紙」、「ビン・缶」、「プラスチック容器」等、細かく分別されています。公園にあるコートの床材は、ペットボトルをリサイクルして作られたものです。

使用される電気の多くは水力発電から得られたもので、バイオガスプラントではホテルや酪農家等から出る生ごみや家畜のフンから発電を行っています。ツェルマットでは、地域で出た廃棄物を地域内でエネルギーに変換し、利用する仕組みがあり、再生可能エネルギーの使用割合が高くなっています。



町の中には、生ごみ等を回収するごみ捨て場のほか、資源ごみを回収するための大きなごみ箱を設置している場所がいくつか整備されています。



ペットボトルを再利用し、作られたコート



バイオガスプラント内の見学



ごみの排出者管理と野生動物へ配慮した
バーコード・鍵付きのごみ回収箱



見学後、案内してくれた皆さんと少しの交流



現地のハイキングガイドから、ツェルマットの観光や伝統なまちづくりの魅力とそれらを保ち続けている取り組み等について説明を受けました。

2024年7月14日(日)

July 14 (sun), 2024

ダヴォスへ向け出発(ツェルマット→ダヴォス)

Zermatt → Davos

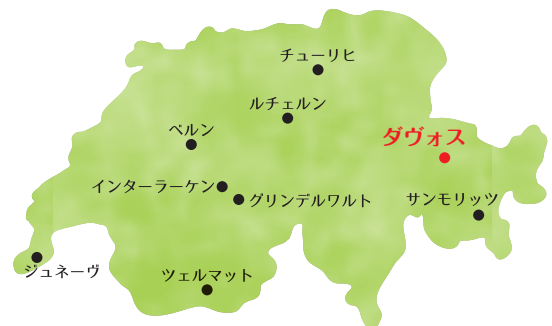


「ダヴォス」について

- ・ 面積：283.98km²
- ・ 人口：10,800人 ※2023.12末時点

サンモリッツと同じ、スイス東部のグラウビュンデン州に位置しており、州で2番目に人口が多い町です。

山の谷あいであり、サイクリングやラフティング、スキー等の多彩なアクティビティが楽しめる山岳リゾートとなっていますが、ダヴォス会議で有名な国際会議場があるほか、多目的ホールや宿泊施設、レストラン、ショップ等も充実しています。



氷河特急

Glacier Express

ツェルマットとサンモリッツを結ぶ観光列車です。平均時速は34km/hとゆっくり走ること、スイス中央部のアルプスの雄大な景色を間近にしっかり楽しむことができます。



人気アクティビティである自転車を輸送する手段が充実



休日にもかかわらず、観光局職員によるお出迎え

ダヴォス国際会議場

Davos Congress Center

ダヴォス国際会議場は、「ダヴォス会議」と呼ばれる1年に一度、数日間にわたって開催されている「世界経済フォーラム」の会場となっています。

ほかにも、大きな会議が開催されており、年間の稼働率は約80%に達します。



ダヴォス観光局の組織体制と観光業に関する講話



自然を楽しむアクティビティのほか、アイスホッケーなどのスポーツ施設や公園、子どもたちの遊べるレジャー施設なども整備されています。



公園には常設されている図書館の本

シャッツアルプ

Schatzalp

宿泊施設のシャッツアルプは、結核の療養施設でした。築100年以上の建物の中にあるスイートルームの備品やエレベーターは当時のまま使用されています。

また、患者のために植えられた植物が残り、現在は植物園が併設されています。



氷河特急等の交通機関やシャッツアルプの歴史等の講話

2024年7月15日(月)・16日(火)

July 15 (mon) - 16 (tue), 2024

倶知安に到着

Zurich Airport → Kutchan





2024年 サンモリッツ公式訪問団メンバー（敬称略）

文字 一志（町長）

作井 繁樹（町議会議長）

九津見 真由美
（在倶知安サンモリッツ通信員）

神奈川 靖如

佐藤 英俊

沈 斐佳

白木 茂

永井 洋

早川 貴士

本間 紘子

本間 浩規

柳沢 利宏

西村 翔太（町観光係）

辺見 一樹（町広報広聴係）



St. Moritz®



Kutchan